

懇談会では、積極的で活発な話し合いが行われました。その主な内容を整理してみました。



懇談会
の様子

中心市街地の現状

町内会や商店会では長年にわたってにぎわいを取り戻そうと努力してきた。ただ、現実には厳しいものがあり、商店街は疲弊し寂しい雰囲気がある。そのような中、行政と協働しての活性化の取り組みは初めてであり期待している。

埋もれた地域資源を活用しようと、本町・中町では平成18年より「ひなまつり」や「端午の節句」に人形の店先・住居前展示を行っている。それぞれ65箇所・110箇所で開催があり好評であった。

本町復興会では、月2回の会合を重ね、活性化の方策を練っている。

県ではバリアフリー化、古いものの補修、にぎわいの誘導を目指し、「まちなか歩道の改修」や「マイタウン白河と新蔵通りを結ぶポケットパーク・スロープ」を整備してきた。

改修された歩道沿いに住む立場からは、歩道と住居・店舗との高低差がもたらす排水を改良してほしい。

まちづくりの動向

これからは都市間の競争が激しくなり、快適性、風格、文化などを競う時代になる。白河はそれに勝ち抜く素質と可能性を持ち合わせている。

自然のなかに人間の営みが刻まれた「文化的景観」が重要視されつつある。

白河市では平成9年に白河市都市景観条例を策定し、観光拠点のPRやサインの整備、観光案内マップの発行などを行っている。ただし、城下や宿場をテーマとした活動は今のところなく、今後期待が寄せられる。

国道294号では横町、田町区間において都市計画道路事業が進行中である。現在は一部で用地買収が進行中だが、事業の進捗には時間がかかる。

城下町、宿場町としての白河

江戸時代後期には武家7千人、町人7千人の人口を抱え、県内有数のまちであった。

城下町ではあるが武家屋敷は残っていない。これは戊辰戦争白河宿の戦いにより焼失、その後の耕地整理で失われた。旧武家屋敷跡にある現在の地割りは新たに作られたものである。

JRの鉄路や駅舎が城郭を横切ったため、城の縄張りは大きく変容した。一方、街道沿いの宿場町は鉄道の建設による改変をほとんど受けなかった上、駅舎と宿場が近かったためににぎわいが保たれて中心市街地として今に残っている。

カギ型街路は城下町の特徴であるが、白河のように現在まで残っているものは少ないのではないかと。

伝統的建築物

「白河商家造り」ともいえる建築物がいくつか残っている。天神町の今井さん（醤油店）などはその代表例である。

蔵造りや商家造りなどの建築物で現代生活をおくるには不具合が多い。蔵の補修には費用がかかり施工する職人そのものも少なくなり、個人の所有物として後世に残すのは困難になってきている。個人所有の建物を「パブリック」として認知できるか。認知するならばパブリック側はそれをどのように保全するかが大きな課題である。

神奈川県では古い民家等に住民の人々の相談窓口としてNPOが活動しており、伝統的建築物の保存・利活用に関する専門家（建築や不動産関係者）が相談に対応している。

二番町では古民家を移設・補修して貸店舗（レストラン・喫茶店）としている例がある。

古い建築物を店舗に利用するなど需要は確実にあるが、供給する建物を発掘・仲介するような業態が立ち上がっていない。

古い建築物の構造は現在の法規に適合しないなど課題がある。

文化庁の登録文化財制度では、生活者の利便性を考慮して建物の外観のみを保全の対象としている。



懇談会
の様子

まちなか歩きで行ってみたい場所などの拾い出し【11/22・11/29】

こんな場所を歩いてみたい!!

本町上の台（通りから外れているが格子の美しい町屋がある）

天神神社、中央公民館付近

愛宕町南（寺社が連なる小路、空堀、桜の季節には多くの人を訪れる）

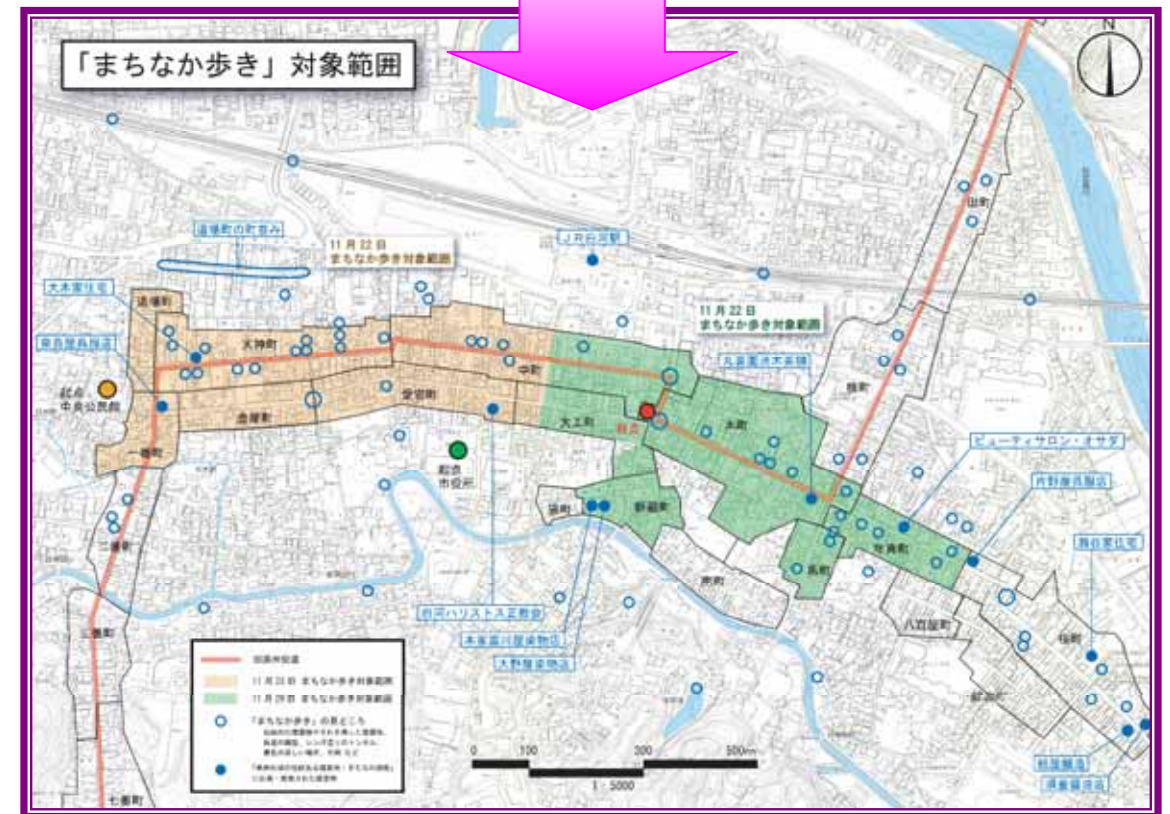
本町北裏（細い路地が迷路のようにになっている）

道場小路（武家屋敷跡の区画が残っている）

カギ型街路

小峰城～隧道～本町～大工町～新蔵町～谷津田川（白河市では城山から南湖公園までを結ぶ“歴史花街道”整備計画を進めている。城山からJR近くの交流広場までは整備済みであり、南湖公園北の散策路は事業化が決定。両者を結ぶ中間の経路について市民からの提案を期待したい。）

…これらの意見を盛り込みつつ、まちなか歩きルートを設定していきます。



今年度の懇談会の方向性

空洞化が進む中心市街地ではあるが、本町や中町にて“ひな祭り”のイベントが立ち上がるなど活性化を目指す機運が高まっている。

地元住民でさえも見逃している地域資源があるはずである。実際に現地を歩いて市民や専門家の視点で発掘していく。

今年度の検討対象エリアは「通り五町」のうち街道の骨格が将来もそのまま残るであろう本町、中町、天神町を中心とする。